

「癒し」の効果注目 「代替医学」に評価

Q 最近、オルターナティブ・メディシンという言葉健康雑誌で目にしますが、これは漢方医学の英語訳なのでしうか。

A オルターナティブ・メディシン (Alternative medicine) は近年米国で使われるようになった言葉で、「代替医学」と訳するのが一般的である。漢方医学の英訳ではない。米国では代替医学が一種のブームになっている。いわゆる現代医学に対して伝統的な医療も治療の選択肢の一つとして認めようという動きである。

内容はハーブ療法、カイロプラクティック、マッサージ療法、ビタミン療法、ヨーガ、鍼（はり）、指圧など多岐にわたっている。背景には現代医学が高額医療になりすぎたことや、いわゆ

る「癒（いや）し」の医学として伝統医学を正當に評価すべきであるという意見が出ていることがある。

米国の医科大学では半分ほどが代替医学をカリキュラムに取り入れようとしている。しかし現状では研究としての関心が強く、臨床医学としての現代医学とどう共存させていくかについての学問的な体系化はなされていない。ハーブ療法は日本の漢方医学に似た面もあるが、底辺も歴史もまだ浅い。市場原理が先行してブームをつくっている面もある。

しかし米国やヨーロッパの生薬療法に対する政策は、わが国の漢方医学の政策に大いに影響するし、現に日本でも欧米から逆輸入する形で種々の代替医学を検討する動きが出ている。